

今回の私の一般質問は

1 未来につながる環境を守るまちづくりについて、4点お伺いします。

(1) 有機フッ素化合物(PFASピーファス)について

永遠の化学物資といわれ、分解せずに存在し続ける有機フッ素化合物ピーファスが問題となっています。ピーファスには5000以上の種類があります。そのうち、代表的なピーファスは2010年に、ピーフォアは2021年に製造・使用が禁止されました。しかし、現在でも、地下水・土壌などの環境汚染は継続しています。

環境省がまとめた2021年度の河川や地下水の調査では、81地点でPFOSピーファスとPFOAピーフォアの合計値が国の暫定的な基準値を上回って検出されました。環境省は来年度以降、PFASについて人体への影響等の調査・研究を行い、基準の見直し等も検討するとしています。

ア 有機フッ素化合物(PFAS)による汚染の実態把握について

Q1 三鷹市内の水道水源についてPFASの最新の検査結果をお伺いします。

Q2 三鷹市内にある震災用井戸、民間の揚水井戸、その他の井戸は何本あるでしょうか。また、水質検査においてPFASの検査は行っているのでしょうか。水質検査の結果報告は公開されていますか。お伺いします。

Q3 大阪の工場によるPFAS汚染は、土壌汚染も課題となっていると聞きます。三鷹市内の土壌汚染調査を検討すべきです。市長の見解をお伺いします。

Q4 多摩地域の市民有志650人による血液検査の結果、特に三鷹市民でPFASの血中濃度が基準値を超えている方がいたかを把握しているのでしょうか。

Q5 PFASによる汚染被害の実態および市民の健康被害を明らかにするため、市民の血中濃度検査及び健康調査を実施すべきです。市長の見解をお伺いします。

イ 有機フッ素化合物(PFAS)の汚染除去等の今後の対策について

Q6 米軍横田基地で3,000リットルの泡消火剤の漏出が明らかになりました。有害物質の排出者責任を問うべきです。現状どのような状況だと把握しているのでしょうか。

Q7 汚染源は米軍横田基地だけではないことも考えられます。アメリカで汚染被害が最初に明らかになったのは有機フッ素化合物の製造・使用する工場でした。多摩地域にも有機フッ素を製造・使用する工場が複数あると聞いています。汚染源を調査・特定し、遮断するため必

要な対策を講じることと同時に、清浄な地下水と健全な生態系保全のため、汚染された地下水の浄化の取組みが必要です。汚染源が特定できた場合、その排出者に対し、市として汚染源遮断と浄化の取組みを求めるべきです。市長の見解をお伺いします。

Q8 水源地から暫定基準値の2倍を超えるPFOSが検出された各務原(かかみがはら)市では、学校に浄水器を設置することにしたという。今後の汚染状況を見据えつつ、保育園、学校等の子ども関連施設への浄水器設置等の検討が必要です。市長の見解をお伺いします。

次に大きな項目

(2) 人工芝による環境汚染について

ア 人工芝によるマイクロプラスチック汚染について

維持管理の手間や費用削減等を理由とし、グラウンド・校庭・園庭等に人工芝を敷く事例が増えています。しかし、人工芝は様々な環境汚染等の課題があることが明らかになってきています。

Q9 人工芝を敷設している市の施設とそれぞれの面積について、現状をお伺いします。

Q10 学校教育施設について、同様のことを教育長にお伺いします。

Q11 環境調査企業による川でのマイクロプラスチック調査では、人工芝由来が最大となっています。市内施設の人工芝からのマイクロプラスチック流出の実態を把握しているのでしょうか。また、発生抑制、流出抑制対策を行っているのでしょうか。お伺いします。

Q12 学校教育施設について、同様のことを教育長にお伺いします。

イ 人工芝からの有機フッ素化合物(PFAS)等有害化学物質による環境汚染について

人工芝を製造する際に添加剤としてPFASが使用されるため、人工芝からPFASが滲み出しています。また、敷設する人工芝の下や間に充填剤として使用されるゴムチップからも重金属類等の有害化学物質が検出されています。

Q13 市内施設の人工芝からのPFAS汚染について実態調査をしているのでしょうか。

Q14 学校教育施設について、同様のことを教育長にお伺いします。

Q15 劣化後に撤去した人工芝の処理が適切になされていないのではないかと懸念があります。市の施設において、交換した人工芝はどのように処理をしているのかを把握しているのでしょうか。

ウ 人工芝のコストについて

人工芝は、人への健康影響もさることながら、広い面積を覆うため土壌内の生態系を圧迫し、表面温度の上昇等により気候変動へも悪影響を及ぼしています。

Q16 10年間での必要経費は、張替等を含めると人工芝より天然芝の方が安いという試算があります。マイクロプラスチックや有害化学物質等の対応、対策まで含めたコスト計算をしているのでしょうか。

Q17 ゼロカーボンシティ宣言をした三鷹市としては、温室効果ガスを発生させてしまう人工芝よりも、温暖化対策に貢献する天然芝を使用すべきです。市長の見解をお伺いします。

次に大きな項目

(3) ペットボトルのリサイクルについて

三鷹市の不燃物、プラスチック、びん・缶・ペットボトル等を処理しているふじみリサイクルセンターが建て替えとなります。工事期間中は、三鷹市が収集したプラスチックとペットボトルを焼却する計画が示されています。これは温暖化対策に逆行するものです。三鷹市としては焼却量を少しでも減らすための努力をすべきです。

ア ペットボトルのリサイクル促進について

Q18 本来、スーパー等で販売したペットボトル等は、排出者責任としてスーパー等の事業者が回収すべきです。市内のスーパー等のチェーン店でのペットボトル、トレー等の店頭回収の実態を把握しているのでしょうか。

Q19 スーパー等で購入したペットボトル・トレー等は店頭回収を利用するよう、市民に周知・広報しているのでしょうか。

Q20 より多くのスーパー・ドラッグストア等で店頭回収をし、それを広報するよう、事業者に働きかけるべきです。市長の見解をお伺いします。

イ ふじみリサイクルセンター建て替え中のペットボトル保管場所について

現在の建替え計画では、ペットボトルは20%のみリサイクルする計画となっています。市が回収したペットボトルを一時保管する場所を確保すれば、リサイクル率を上げることが可能だと言われています。

Q21 ペットボトルの保管場所として、面積等の条件、および費用負担等について、どのようなものか聞いているのでしょうか。

Q22 保管場所確保の検討状況についてお伺いします。

Q23 温暖化対策のため、ペットボトルを焼却せずにリサイクルするために最大限の努力を払うべきです。市長の見解をお伺いします。

次の項目

(4) 東京外環道工事については、連続 28 回目となります。

ア 調布陥没地域での地盤補修工事の現状について

8 月から調布市の陥没地域において、地下に直径4m、高さ40mの円筒状にセメントスラリーを注入する地盤補修工事が始まりました。

Q24 甲州街道北側のプラントヤード、そこから入間川の上部に設置された配管、セメント注入工事や確認のためのボーリング工事などの状況について説明を受けているのでしょうか。

Q25 住民が質問状を出すなど安全確保のための要請等を行っているが、それについて、事業者の対応を含め説明を受けているのでしょうか。

Q26 地盤補修工事区域とその周辺住宅からの苦情について、報告を受けているのでしょうか。

イ 中央ジャンクション工事について

中央ジャンクション工事は、地中のランプ構築がほぼ終了しています。南側のランプシールドマシンは準備工事のまま動いていません。

Q27 現在行っている工事は何件であり、今後の入札予定等、新たな工事の開始予定等の情報は得ているのでしょうか。

Q28 私は、事業者に対し中央ジャンクションの完成状態の形と、工事完了・継続中・未着手などの部分とが視覚的にわかるよう模型等で示してほしいと、何度も要望してきました。市からも過去要望しているのでしょうか。事業者から何らかの対応があったのでしょうか。

Q29 中央ジャンクションの地上部の市民への開放についての協議の進捗状況についてお伺いします。

ウ 地上部街路「外環ノ2」について

地上部街路「外環ノ2」は、幅40メートルの東京都都市計画道路です。三鷹市内では東八道路の外環出入口から北へ、牟礼・井の頭地区を通り、立教女学院の西側までつながる計画線が描かれています。

Q30 「外環ノ2」は練馬区内で事業化されていますが、整備の現状について把握しているのでしょうか。

Q31 杉並区、武蔵野市では話し合いの会が行われ、中断している状態だと認識しています。現状についてお伺いします。

Q32 三鷹市においては、「外環ノ2」についての話し合いの会もなく、整備・事業化への動きはないものと思いますが、今後の予定等、何か動きはあるのでしょうか。

以上、壇上での質問を終わります。次席での再質問を留保します。よろしくお願ひします。